

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.129)



三河港湾事務所だより



2018年3月号



開発保全航路所長会議が開催されました

2月5日(月)に、開発保全航路所長会議が開催されました。この会議は、大型船が航行する開発保全航路について、関係所長が情報交換や意見交換等することにより各航路の開発保全業務の円滑な実施に役立てることを目的に、平成15年より開催されている会議です。毎年、開発保全航路を管理している、全国の9事務所の持ち回りで開催しています。

今年は、四国の松山港湾・空港整備事務所が担当となり、会議に合わせて「来島海峡航路」の見学会も開催されました。「来島海峡航路」は日本で唯一、順中逆西航法という航法が定められており、潮の流れる方向により船舶の通行帯が変わります。

三河港湾事務所では、開発保全航路である中山水道航路の管理・保全業務を行っています。

中山水道航路は、三河湾の湾口部に位置し、三河湾諸港へ出入りするための海上交通の要衝ですが、浅瀬(最浅地点 水深8.6m)や暗礁が点在するために大型船舶の航行が制限されていました。また、三河湾、伊勢湾に出入りする船舶が合流・分流する地点であるため、船舶が複雑に航行する海域であるとともに、伊勢湾屈指の好漁場で、数多くの漁船の操業の場でもあったため、海難事故の危険性の高い海域とされていました。そのため、平成元年12月に開発保全航路として政令指定され、平成11年から6年で水深14.0mの浚渫工事を実施し、平成17年2月より供用を開始しています。

○航路水深：14m、航路幅員：700m、航路延長：2,900m、浚渫土量：約620万 m^3

○対象船舶：3万重量トン級

○事業期間：平成元年度～平成16年度、事業費：329億円

※開発保全航路とは、「船舶の交通を確保するため開発及び保全に関する工事を必要とする航路」のことで、環境の保全および貴重な天然資源の保存、漁業との調整等に配慮しつつ、その区域は政令で定められています。



「来島海峡航路」見学会の様子



位置図

国際協力に貢献！

～JICA研修員が三河港を視察しました～

2月8日(木)、9日(金)に、JICA(独立行政法人国際協力機構)が実施している「港湾戦略運営研修」で来日している10カ国、計11名の研修員が三河港及び名古屋港を視察しました。

三河港では、ポートインフォメーションセンター「カモメリア」にて、三河港の貨物取り扱い状況や港湾施設等のインフラ整備状況などを紹介しました。また、メルセデス・ベンツ日本(株)の新車整備センターを見学し、三河港で輸入された完成自動車の整備の様子を視察しました。さらに、豊橋市を表敬訪問し、三河港を視察して感じたこと、日本について感じたことなどの感想や自国の港に対する抱負を述べ、佐原市長と意見交換を行いました。



豊橋市を表敬訪問

研修員の方々は、輸入の手続き、保管期間など、どのような流れで輸入がされているのか、施設の運用形態、その効率性などに関心をもたれており、熱心さが伝わってきました。

《参考：研修員の出身国【10カ国、計11名】》

イラク(1)、インドネシア(1)、エジプト(1)、ガーナ(1)、ケニア(1)、コートジボワール(2)、コロンビア(1)、フィリピン(1)、モザンビーク(1)、モロッコ(1)

※()内の数字は研修員の人数、国名五十音順



カモメリアでの概要説明の様子



メルセデス・ベンツ日本(株)の見学





衣浦港テロ訓練

～中部地方整備局では初となる民間施設で開催～



2月8日（木）に、「JFEスチール株式会社知多製造所」で開催された、テロに備えた合同訓練に参加しました。

この訓練は、東京オリンピック・パラリンピック等の国際大会を見据え、衣浦港の水際対策に関わる関係機関が連携し、危機管理意識の向上を図ることを目的に開催されました。訓練には、愛知県警察、半田警察署、衣浦港務所、名古屋海上保安部、衣浦海上保安署、豊橋税関支署衣浦出張所、名古屋入国管理局、中部運輸局、JFEスチール株式会社知多製造所、当事務所の10機関84名（航空機1機、船艇7隻、車両11両）が参加しました。

当事務所では、今後も危機管理意識を高め、各機関及び埠頭管理者と連携して、水際対策に取り組んでまいります。



開会式の様子

訓練内容

【情報伝達訓練】

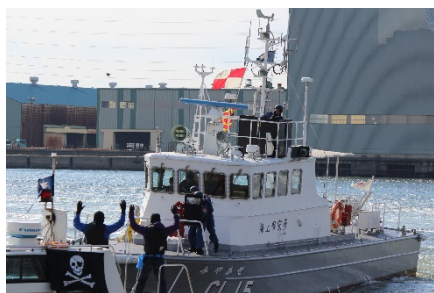
政府（水際危機管理チーム）から「国際テロリストが潜伏した船舶が衣浦港に入港する」との連絡があり、各機関に情報伝達を実施。

【海上訓練】

密航阻止などを目的に漁協、警察、海上保安庁の3者で2月2日（金）に発足させた「南知多ハーバーネットワーク」の連絡網を生かし、漁協から不審な2人乗りボートの情報が半田警察署や衣浦海上保安署などに寄せられた。監視を強化していたJFEスチール株式会社知多製造所警備員から岸壁着岸中の外国貨物船に不審船が接触しているとの通報があり、関係機関が急行したところ、不審な小型船舶が逃走したため、上空からの県警ヘリ及び関係機関の船舶による追跡を行い、銃撃の末に制圧。

【陸上訓練】

岸壁に停泊中の外国船舶（海上保安庁巡視船「あやばね」を外国船舶として想定）に対して合同立入検査を実施した後、入国管理局による岸壁での船員に対する上陸審査、税関による手荷物検査を実施。上陸審査の実施中に、船員の2名が自動小銃を発砲し逃走をはかろうとしたため、愛知県警銃器対策部隊により制圧。さらに、この船員の所持品に爆発物が入っているとみられたため、県警爆発物処理班が爆発物処理用の専用車両を用いて処理を実施。



船舶による追跡・制圧の訓練の様子



銃器対策部隊がテロリスト役を制圧する訓練の様子



採用されてからの1年を振り返って



工務課 長田 康輝

私は昨年4月に採用され、工務課の一員として、三河港・衣浦港・中山水道航路の予算管理などを行っています。

業務に取り組む中で、一つの施設の整備に多くの時間や費用をかけ、また、関係者の方々のご協力があって業務を進めることができることを実感しました。また業務の傍ら、現場見学や、勉強会に参加させていただく機会もあり、良い経験となりました。

この1年を通して、業務に対して責任や誇りが持てるようになってきました。三河港、衣浦港をはじめ地域の発展に貢献できるよう、今後も頑張っていきます。



イベントの対応では、子どもたちと接する機会も多く、通常の業務とはまた違う楽しさがありました。



豊橋みなとフェスティバルの様子

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>